

2005年毎日農業記録賞優秀賞受賞

「農への思い」をつづる毎日農業記録賞（毎日新聞社主催）で、一般と高校生933編の応募の中から、森部真史さん（一般の部）・西川宗佑さん（高校生の部）が優秀賞に輝きましたので紹介します。



「農業は生活の一部。野菜とのかかわりは日々欠かせない」。西川宗佑さんは、将来農業に関係する仕事をしたと考える。高2の時、これまでの野菜作りの経験でどこまでできるか、農業経営に挑戦。小遣いで種や苗を購入し、土壌作り、害虫防除、ナスの3本仕立ての3つの課題を設けて取り組みました。無農薬野菜栽培はとて

も難しく、害虫や病気に悩まされるたびに本を読んで実践。育てた野菜を商品として販売し、

も難しく、害虫や病気に悩まされるたびに本を読んで実践。育てた野菜を商品として販売し、



農業と子育てへの思いから、脱サラして農業の世界に飛び込んだ森部真史さん。5年前、大阪から瀬戸内市（当時牛窓町）に移り住み、農業を始めました。作品には、思いどおりにいかない作業の悪戦苦闘ぶりや人情あふれる近所の人たちとのやりとりなどが、ユ

ーモラスに書かれています。「5年たった節目に、書いてみたかった。受賞できて、うれしです。今まで頑張ってきたご褒美をもらったようで、また一から頑張ろうと気が引

き締まる思いです」と森部さん。現在は、約1万平方メートルの農地で、ハクサイ、キヤベツ、イチゴなど50品目以上の野菜を生産しています。サラリーマン時代は、フラワーデザインやイベント生花装飾の仕事をしていました。動物物が好きで、そのころから販売だけでなく、生産する仕事が出来たい、また将来の自分を想像した時、やりた

すべては2000年から始まった脱サラ百姓奮戦記

森部真史さん（39歳・牛窓町長浜）

安全な野菜作りたい 試行錯誤の農業経営

西川宗佑さん（18歳・邑久町豊原）

「農業は生活の一部。野菜とのかかわりは日々欠かせない」。西川宗佑さんは、将来農業に関係する仕事をしたと考える。

高2の時、これまでの野菜作りの経験でどこまでできるか、農業経営に挑戦。小遣いで種や苗を購入し、土壌作り、害虫防除、ナスの3本仕立ての3つの課題を設けて取り組みました。無農薬野菜栽培はとて

も難しく、害虫や病気に悩まされるたびに本を読んで実践。育てた野菜を商品として販売し、

も難しく、害虫や病気に悩まされるたびに本を読んで実践。育てた野菜を商品として販売し、

懸命につないだ一本のタスキ

箱根駅伝1区を駆けつけた金塚洋輔さん

（大東文化大学3年・21歳・邑久町豊原）

邑久中学校出身の金塚洋輔さんが1月2日、第82回東京箱根間往復大学駅伝に出場。大東文化大学の代表として1区（大手町〜鶴見）21.4キロを走りました。「小さいころはプロサッカー選手になりたかった」という金塚さん。小学校の時は長距離が嫌いで、中学校ではサッカー部に所属。1年生の冬、風邪をひいて

新春マラソン大会に出場できなかった陸上競技部員に代わりに入ったのがきっかけで陸上競技部に転部。互いに負けたくない関係だった仲間でありライバルだった練習を重ね、全国中学校駅伝に出場。3年生の時、男子岡山県勢過去最高の13位という好成績を収めました。

録が伸びず落ち込んだことも。それでも、「自分にはこれしかない」と思い頑張りました。大学は、最初に声を掛けられた監督のいる大東文化大学に入学。1年生の時、座骨神経痛で半年間走れず苦しみました。2年生の時、初めて目標だった箱根駅伝に1区で出場。「や」と走れる。チャンスをつかんだ。その思いを胸に懸命に走ったけれど、無念の思いも残りました。3年生の今年も1区を託

されました。集中して走っていたところ15キロの給水時にレースが動き、あわてたという金塚さん。苦しい最後をどれだけふんばれるかが勝負。「ちょっとでも早くタスキをつなごう」と懸命に走り、14位でタスキをつなぎました。中学校時代の

陸上仲間も応援に駆け付けました。「うれしかった。地元の人応援は力になった」と喜びをかみしめました。来年は箱根を走る最後のチャンス。「最後の箱根は満足のいく結果を出したい。そのためにも悔いのない一年間にしたい。予選を通過し、華の2区を走ります」と新たな決意で臨みます。「将来は日の丸を着けて走りたいですね。記録をどこまで伸ばせるか。新たな目標に向かって走り続ける金塚さんです。」

全国中学校駅伝 堂々の33位

邑久中学校陸上競技部女子

10回出場記念し特別表彰受賞



全国中学校駅伝10回出場記念の盾を手に笑顔のメンバー

第13回全国中学校駅伝大会が12月18日、千葉市昭和の森で男女48校が参加して行われ、県代表で出場した邑久中学校女子が33位でした。県では12回の優勝を誇る伝統校。4年ぶりに県代表として全国の舞台に臨みました。1区・正富夕子選手、2区・神崎華子選手、3区・井上那木選手、4区・原亜衣選手、5区・戸田理恵選

手と心をつなぐたすきをつなぎ、戸田選手が7人抜き33位でゴールしました。また、全国大会出場10回を記念し、邑久中学校が開会式で特別表彰を受賞。これは、全国中学校駅伝始めて以来の快挙です。「今年も県で優勝し、伝統をつなぎ20勝を目指したい。目標はアベック優勝」と、正富夕子キャプテン。



戸田選手(左)が、7人抜きの快走

次の目標に向け頑張れ！ 邑久中陸上競技部。